

中国の介護人材事情②

中国の介護職の勤務形態は12時間勤務か24時間勤務あるいは隔日24時間勤務で、長時間労働を余儀なくされているのが現状です。社会保険の保障がないことに加えて給与も低いので離職率が高くなっていきます。

また「ほかに仕事がないので仕方なく介護職についている」という人も多く、もっとよい仕事が見つかるまでのつなぎの仕事としてモチベーションが低いケースも見られます。また、そうした理由から、介護に長期間携わる人が少なく、人材が流動的であることが問題視されています。今後ますます介護の需要が高ま

っていくことが考えられるため、さらなるサービスの充実が望まれている状況です。

在宅介護サービスをを行う家政服務員や施設で介護サービスを提供する養老護理員といった人もいますが、国家資格はなく国家職業基準が定められています。研修後の試験により様々な等級に認定されています

私の経験からも、日本の介護事業者が海外で教育・研修を行うことは、国民性に違いがあり、難しいです。

日本と中国では、「きれいにする」という概念に開きがあります。日本では、床を掃いたり、テ

長時間労働で不人気

ールや家具の上を拭いたりして「きれいに」しますが、中国では物を片付ければ、それで「きれいに」したと考えます。

「きれいにしてください」という言葉だけでは意図が伝わらないので、片づけ方の違いを見てもらうなどのやり方で理解を促すように指導することが大切です。

台湾では、労働力不足を認められた分野で、外国人労働者を受け入れていますが、介護の分野でもたくさん外国人が働いていて、「外籍看護工」

と呼ばれるいます。公的な介護サービスを受けるよりも費用が安く、自分で外籍看護工を雇ってお世話をしてもらっている人の方が圧倒的に多いです。台湾でも日本同様に介護の人手は不足しているのが現実です。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。